

## スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	受託研究「わたしのまちのスポーツ」調査
担当	吉田 政幸
実施日	2014年6月25日～2015年3月31日
対象	①1次アンケート調査:滋賀県を除く全国46都道府県および各都道府県体育協会 ②2次アンケート調査:国体開催地となった市町村および該当競技団体 ③インタビュー調査:国体がきっかけでスポーツ振興につながった特徴的な5市町村および該当競技団体
場所	郵送法によるアンケート調査(①, ②)およびインタビュー対象者の所属先(③)
実施形態	①アンケート調査(全国規模) ②アンケート調査(全国規模) ③現地インタビュー調査
研究費	700,000円
概要	「わたしのまちのスポーツ調査」は、これまでに全国で開催された国体の開催地および競技種目を分析対象とし、国体がきっかけでスポーツがまちに定着し、その後のスポーツ振興や地域活性に結びついた背景を突き止めることが目的であった。まず国体開催地にスポーツが定着したかどうかを検証するため、スポーツレガシー(①スポーツインフラ, ②スポーツ指導者, ③地域内連携, ④育成システム, ⑤一般市民のスポーツ参加, ⑥開催競技種目の評判, ⑦若者の意識変化)の概念を応用し、二つのアンケート調査(1次, 2次)を実施した。次に国体がスポーツ振興や地域活性につながったかどうかの検証ではインタビュー調査を行い、国体レガシーが形成されたことで生まれた二次的効果(スポーツ振興や地域振興)を探索的に調べ、さらに国体レガシーを生み出した前提条件(規定要因)についても質的アプローチから詳細に記述した。

記録(写真)

